

# 都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和3年5月調査)

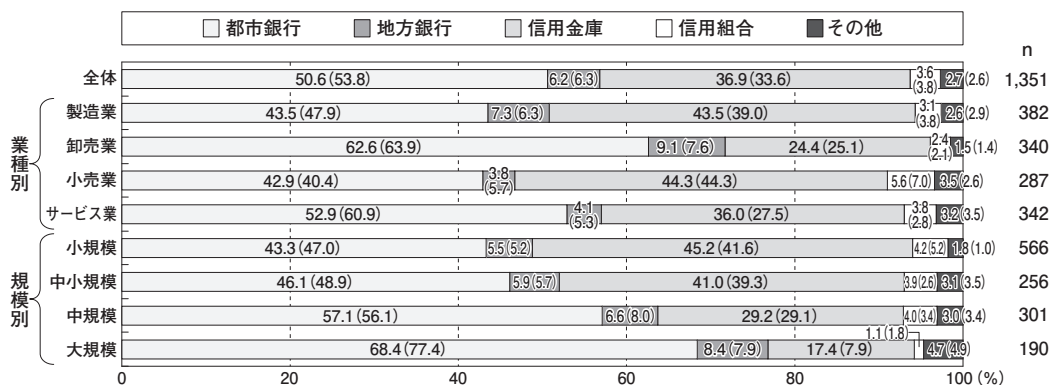
## 1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が50.6%（前回調査53.8%）で最も高く、次いで「信用金庫」が36.9%（同33.6%）、「地方銀行」が6.2%（同6.3%）、「信用組合」が3.6%（同3.8%）となった。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が62.6%（同63.9%）と高い。一方、小売業は「信用金庫」が44.3%（同44.3%）を占める。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」と「地方銀行」が高くなり、大規模は「都市銀行」が68.4%（同77.4%）を占める。一方、規模が小さくなるほど「信用金庫」が高くなる。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

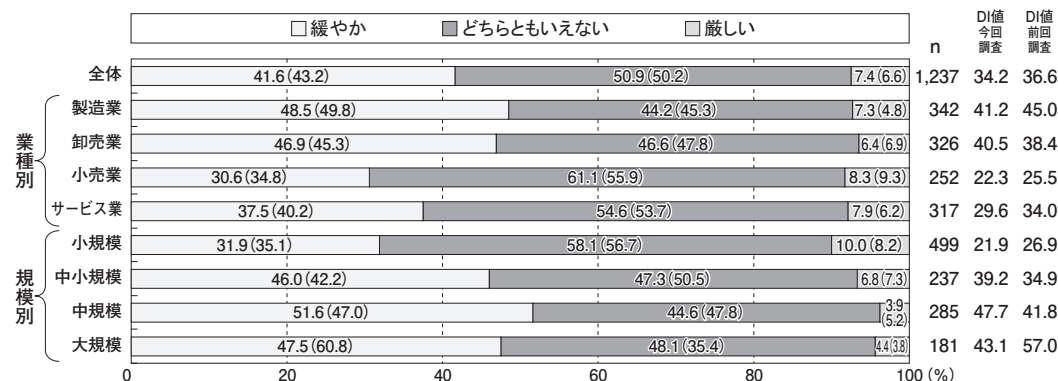
## 2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では34.2（前回調査36.6）となり前回調査と比べて2.4ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、卸売業を除きすべての業種で減少した。なかでも、サービス業29.6（同34.0）は4.4ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、小規模21.9（同26.9）は5.0ポイント減少し、大規模43.1（同57.0）は13.9ポイント減少した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 3. 主な取引金融機関からの借入金利

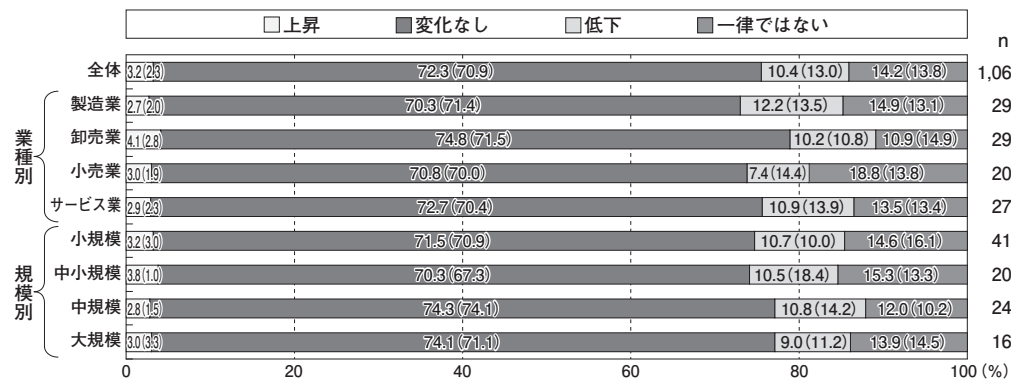
### (1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が72.3%（前回調査70.9%）と最も高い。また、「低下」が10.4%（同13.0%）で「上昇」の3.2%（同2.3%）を上回る。

業種別にみると、卸売業は「上昇」が4.1%（同2.8%）であり、製造業は「低下」が12.2%（同13.5%）となった。

規模別にみると、大規模では「低下」が1割に達しない。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

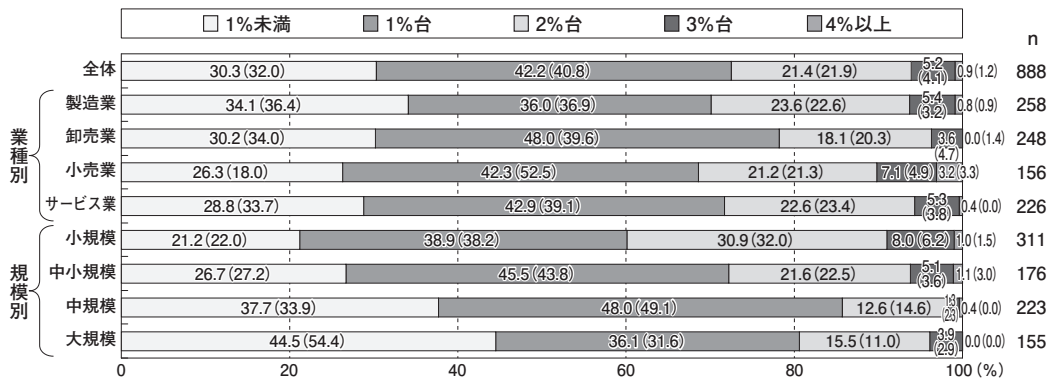
## (2) 金利水準

最近の借入金利は「1%台」が42.2%（前回調査40.8%）と最も高く、次いで「1%未満」が30.3%（同32.0%）、「2%台」が21.4%（同21.9%）の順で続く。

業種別にみると、小売業は2%以上が31.5%である。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「1%未満」が高くなり、大規模は「1%未満」が44.5%（同54.4%）を占める。

図表4 金利水準



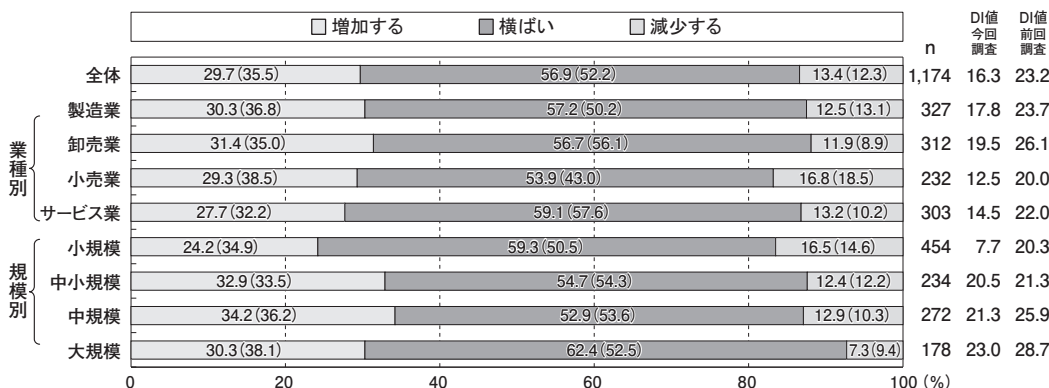
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。  
3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 4. 資金需要

### (1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値(「増加する」-「減少する」)でみると、全体では16.3(前回調査23.2)となり前回調査と比べて6.9ポイント減少した。

図表5 資金需要(今後3か月間)



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。  
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

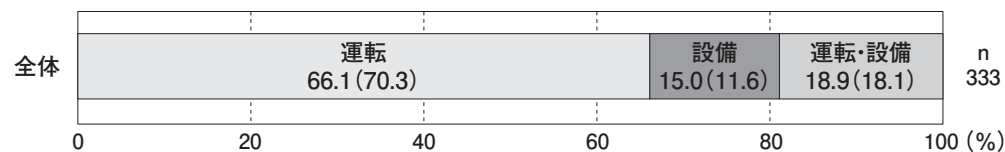
業種別にDI値をみると、小売業12.5(同20.0)とサービス業14.5(同22.0)はともに7.5ポイント減少、卸売業19.5(同26.1)は6.6ポイント減少、製造業17.8(同23.7)は5.9ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、すべての規模で減少した。なかでも、小規模7.7(同20.3)は12.6ポイント減少した。

### (2) 資金使途

増加する資金需要(今後3か月間)の資金使途をみると、「運転」が66.1%(前回調査70.3%)と最も高く、次いで「運転・設備」が18.9%(同18.1%)、「設備」が15.0%(同11.6%)となった。前回調査と比べて「運転」は4.2ポイント減少し、「設備」が3.4ポイント増加した。

図表6 資金使途

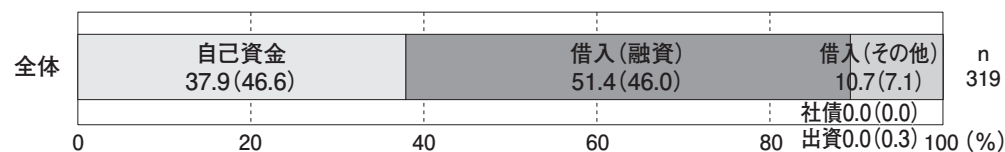


注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。  
( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (3) 調達手段

増加する資金需要(今後3か月間)の調達手段をみると、「借入(融資)」が51.4%(前回調査46.0%)と最も高く、次いで「自己資金」が37.9%(同46.6%)となった。前回調査と比べて「自己資金」は8.7ポイント減少し、「借入(融資)」が5.4ポイント増加した。

図表7 調達手段



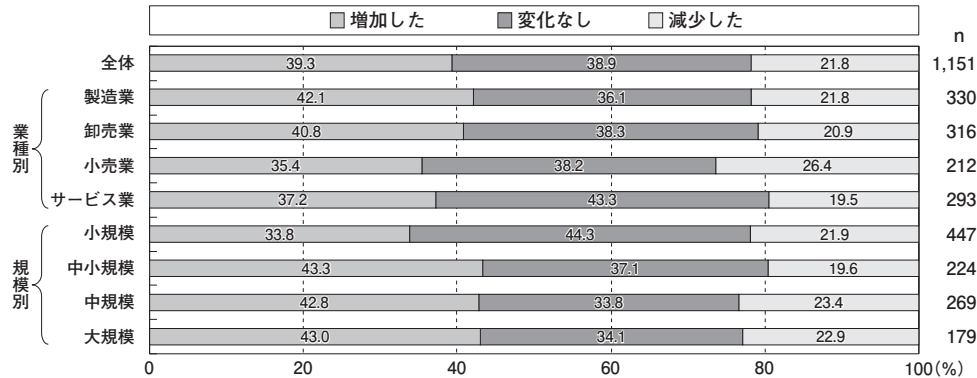
注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。  
( )内は前回調査(令和2年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 5. 金融機関からの借入金総額の状況

### (1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「増加した」が39.3%と最も高く、次いで「変化なし」が38.9%、「減少した」が21.8%となった。業種別にみると、製造業は「増加した」が42.1%を占める。規模別にみると、中小規模は「増加した」が43.3%と高い。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



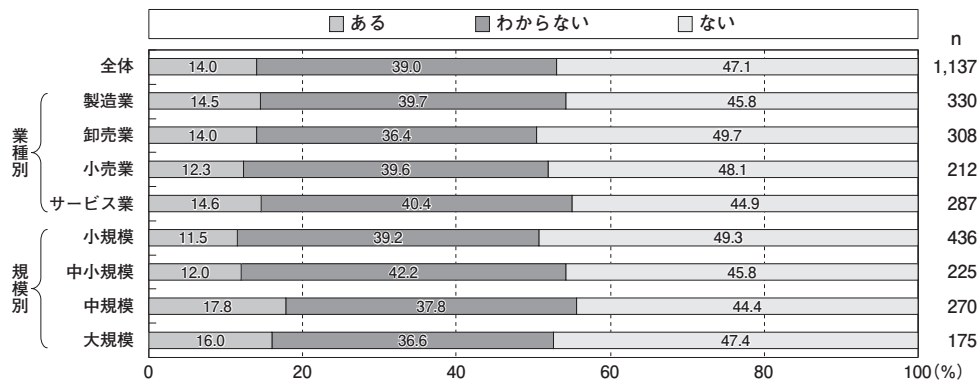
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が47.1%と最も高く、次いで「わからない」が39.0%、「ある」が14.0%となった。

業種別にみると、製造業、卸売業及びサービス業は「ある」が14%台を占める。規模別にみると、小規模は「ない」が49.3%と高い。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。